

子宮頸部レーザー蒸散術に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター産婦人科では、「CIN2 または CIN3 に対するホルミウムレーザーを用いた子宮頸部蒸散術の有効性に関する調査」を行うことになりました。

この研究の目的は、子宮頸癌の前癌病変である CIN2 または CIN3 に対する標準的治療である子宮頸部円錐切除術に対して、より低侵襲な代替治療として用いられているレーザーを用いた子宮頸部蒸散術の当院における有効性について後方視的に検討することです。

この研究のため、2012年6月21日より2021年11月30日までに治療した方の手術時年齢、手術時間、病理検査結果、HPV ジェノタイプ、ハイリスク HPV の有無、術後合併症の有無、術後再発の有無の調査を行います。対象となるのは CIN2 または CIN3 に対して子宮頸部レーザー蒸散術で治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2022年10月

研究責任者

東京医療センター 産婦人科

山下 博

連絡先 03-3411-0111(代表)